

講義コード	1099	科目区分	基礎教育科目(基礎)
(フリガナ)	キソゼミニ	(フリガナ)	ハラダケンイチ イムンサン
授業科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	原田憲一、李文相
英文授業科目名	Basic seminarⅡ		
基準年次(開講期)	1年次(後期)	履修形態	必修
曜日/時限/講義室	火曜日/3時限/311教室		
授業の方法	演習	授業の方法 (詳細情報)	アウトラインの文章化と文章の推敲を行う。「10年後の自分」をテーマにしたプレゼンテーションを行う。
単位	1	週時間	2
授業のキーワード	プレゼンテーション、アウトライン、ピア・レスポンス、ライフデザイン		
授業概要・目的	大学における学習に不可欠な学修技法の基礎を身に着ける。 後期は、アウトラインに基づいた文章の作成およびプレゼンテーションに重点を置く。		
到達度評価の 評価項目	(知識・理解) 1. パラグラフの組み立てと文章の推敲の意義が理解できる。 2. プレゼンテーションの重要性を理解している。 (知的能力・技能) 1. 自分のライフデザインができる。 2. 訴求力のあるプレゼンテーションができる。 3. アウトラインに基づいて論理的な文章を作ることができる。		
授業計画			
第1回	オリエンテーション シラバスの配布、授業の進め方と受講の留意点等		
第2回	「児童労働とフェアトレード」のアウトラインに基づいた文章作成 句読点に注意したピア・レスポンス		
第3回	「現代建築の老朽化と骨材資源」のアウトラインに基づいた文章作成 文体の統一に注意したピア・レスポンス		
第4回	「幸福とは何か」のアウトラインに基づく文章作成 パラグラフに注意したピア・レスポンス		
第5回	ライフラインの作成による人生の振り返り(1) 自分のライフラインを用いた5分間スピーチ		
第6回	ライフラインを用いた5分間スピーチ(続き)		
第7回	「人生の振り返り」の文章化 アウトライン、パラグラフ、文章		
第8回	レポートの書き方と図書館の利用法		
第9回	「10年後の自分」を考える 思考マップをつくり、アウトラインを組み立てる。		
第10回	10年後の名刺交換会 10年後の自分の肩書を入れた名刺をつくり、その名刺を相手と交換して会話を発展させる。		
第11回	「7分間スピーチ」(テーマは「10年後の自分」)用にカードづくりとピア・レスポンス		
第12回	7分間スピーチ(その1) 一人7分間のスピーチと3分間の質疑応答		
第13回	7分間スピーチ(その2)		
第14回	7分間スピーチ(その3)		
第15回	学習のまとめ		
教科書・参考書等	「プレゼンテーション」に関する本が数多く図書館にあるので、どれか1冊を通読すること。		
授業で使用する 機器等	適宜、印刷資料を配布する。		
予習・復習への アドバイス	プレゼンテーション能力を養っておくと、卒業研究発表だけでなく就活面接にも役立ちます。		
履修上の注意・ 受講条件等	全回出席を前提にプログラムを組み立てているので、3回連続して欠席した場合は、単位を認めない。 10分以上遅刻すると実習に支障をきたすので、10分以上の遅刻は欠席扱いとする。		
成績評価の基準等	提出物の評価(50/100) 授業への参加度(30/100) 受講態度(20/100)を総合して評価する。		
メッセージ	大学での学修には、集中力と読み書き喋るに関する学習技法が不可欠です。集中力を高めるために、携帯電話は電源を切ってカバンの中に入れておくこと。		
オフィス・アワー	授業終了前の10分間を質疑応答の時間(コミュニケーション・タイム)に充てるので、自由に質問すること。		
その他			